

めいりん

令和4年7月20日

明倫小学校 学校だより 第14号

夏休み開始号 校長 武久 隆弘

笑顔あふれる、学校生活！！



いよいよ、楽しい夏休み！！ ～ 個別懇談会も、ありがとうございました～



コロナ禍が続く中、新年度がスタートして学校生活を送ってきましたが、いよいよ7月22日から、子どもたちが楽しみに待っていた夏休みが始まります。保護者や地域の皆様におかれましては、4月から、学校行事や登下校にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで子どもたちは、コロナ禍で様々な制限が生じている中にもかかわらず、一人ひとりが工夫して、学校生活を送ることができました。また、先般はご多用の中、個別懇談会にお越しいただき、お礼申し上げます。（再設定の学級については、ご迷惑をおかけし申し訳ございません。）

今年の夏休みは、7月22日（金）～8月31日（水）の41日間です。規則正しい生活を心がけ、計画的に課題に取り組んで欲しいと思っています。

夏休みの大切な意義の一つは、普段の学校での活動だけでは学ぶことのできない体験ができることです。暑い日の続く夏休みは、室内でテレビを見たりゲームをしたりする時間が長くなりがちですが、時間を計画的に使えるといいですね。読書に親しんだり、体を動かしたり、時には自然の中で活動したりすることで、夏休みがより一層有意義なものになると思います。

子どもたちが元気で楽しい夏休みを過ごし、9月1日（木）の夏休み明け初日を迎えることができるよう、どうぞよろしくお祈りします。

楽しかった学校水泳、最後は着衣水泳！！

6月20日から、3年ぶりに再開した「学校水泳（体育の授業）」ですが、7月14日の授業をもって、すべて無事に終わることができました。

本年度はコロナ禍の中、更衣室を中心に感染症対策を講じての実施ということで、各学級単位で実施しました。最後の着衣水泳では、服を着たままだと泳ぎにくいことを体感し、ペットボトルやレジ袋を活用することにより、体が浮くことができることを学びました。着衣水泳は、不意に水に落ちたときに、あわてずに落ち着いて行動できるように、衣服を着たままだ水に浮いたり泳いだりする学習で、「命を守る教育」の一環として行っています。

子どもたちは「服が張り付いて変な感じ！」「動きにくい！」など、いつもの水泳とは違う感覚を体験できました。身近なペットボトルを利用して体を浮かせる練習も行いました。

今年の夏休みも、「暑い夏」が予想されます。ご家族で川や海に行かれる際には、水の事故には十分気をつけていただきたいと思います。6～7月の水泳期間中、準備等でお世話をいただき、ありがとうございました。



お知らせ

昨日19日、「学校閉校日における緊急連絡先について」・「9月よりの専科授業担当者・時間割変更について（裏面）」のご案内を配布させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

夏休み中の「安全確認」への取り組みのお願い

41日間の長い夏休みとなりますが、ご家庭で様々な面において、お子様に「安全安心面」で寄り添っていただけたらと思います。学校でも指導をさせていただきますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



命を守る① 新型コロナウイルス感染症対策

引き続き、ソーシャルディスタンス・手指消毒などの励行を！

感染症拡大防止のための取り組みの継続をお願いいたします。夏休み中は、これまで以上に、様々な方と接する機会が多くなるかと思いますが、3密を防ぐというスタンスを継続するとともに、毎日「検温表」への記録もお願いします。

三重県内の感染確認者数は、大きく増大しています。ワクチン接種が進んできているとはいえ、まだまだ安心はできません。油断をせずに、引き続き、みんなで感染症拡大防止に取り組んでいきましょう。

命を守る② 熱中症対策 帽子着用・汗拭き・水分補給！

現在は新型コロナウイルス感染症対策のため、みんなマスクを着用していますが、体育の授業や外遊びなどの時を中心に、友だちと2m以上の十分な間隔を取った上で、熱中症対策のために、マスクを外すことを推奨してきました。

夏休み中も、屋外に出るときは、帽子を忘れずにかぶるようにしましょう。汗拭きタオル、こまめに水分補給もあわせてお願いいたします。



命を守る③ 交通安全・自然災害・不審者対策

夏休み中に、お子様と通学路などを歩いてみては、いかがでしょうか！

日頃、登下校でお子様が行っている通学路を、熱中症対策を講じた上で、時間を見つけて、お子様と歩かれてみてはいかがでしょうか。

交通安全・不審者・風水害や津波地震などの自然災害発生時という観点で意識をして歩いていただくと、案外これまで意識していなかったことに気付くことがあるかもしれません。あつてはならないことですが、「もし、登下校中に地震が起こったり、津波避難の必要が生じたりしたら、どのようにしたらいいのか。」万が一のとき、自分で自分の命を守るため、どのような行動をとったらいいのか、お子様と話し合いながらフィールドワークをすることは、危機管理上、とても貴重な経験になると思います。その際、もしお気づきの点がありましたら、学校までご連絡いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。



命を守る④ 水難事故対策 小川も、急に増水する危険性も！

いつも浅くて安全と思っている小川でも、大雨で急に増水する場合があります。ま



た、海や川・池などには、危険がいっぱい。水辺の危険性について、着衣水泳を含み、学校でも指導させていただきましたが、改めてご家庭でも注意喚起していただきたいと思います。

子どもだけで「やすらぎ公園プール」などの、屋外プールに出かけることは、残念ながら校区外となるので、できません。あわせてよろしくお願いいたします。

